

教育の質保証を目的とした学修成果の可視化について ①

① ～教育の質保証とは～

- ・ 2012年の質的転換答申
生涯学習の観点から主体的に育える力を育成
- ・ 社会から大学に対して、次代を切り拓く人材の育成が期待されている。

～可視化の目的～ C-12

- ・ 学生が自ら課題を見つけて成長するため
- ・ 学位記だけでは分からない学生の成長過程や能力の保証

② 現状

- ・ 修学指導履歴の記録
- ・ 存在をほとんど知られていない
- ・ 学生に意義が理解できていない

③ 問題点

- ・ 教職員での情報共有不足
- ・ 説明が不十分
- ・ 活用が必要性が学生に伝わっていない

④ 要因

- ・ 大学側の自己保身
- ・ メリットが学生に明確になっていない

全ては学生のために!! 学生のためのポートフォリオの活用 C-12 ②

- ① 設定テーマのポイント
- ・ 2012年の質的転換答申
 - ・ 次世代を切り拓く人材の育成
 - ・ ポートフォリオの推進

- ④ 方向性・目的
- ・ 学生の成長過程や能力の保証
 - ・ 主体的学修環境の提供

- ③ 問題点
- ・ 学生は何を知らずにはいか
何が足りぬのかわかっていない
↳ 学生の学びの客観視ができていない
 - ・ 4年間継続して利用させる仕組みがない
 - ・ 学生が魅力を感じていない

- ⑤ 具体的な專業・方策
- <ポートフォリオ運用の提案>
例) 日本福祉大学のディプロマサマメント
正課外活動を証成長過程の把握
- ⑥ ゲーミフィケーションを用いたポートフォリオの運用
- ゲームで得られるような達成感や楽しさを取り入れる
 - ex) 達成度に応じた成長の可視化
 - ・ 他者との比較(数値・称号)
 - ・ 成長過程に応じた達成目標の明示
- ↓ ビッグデータの蓄積
- ロールモデルの確立
先輩や卒業生との比較による就職支援
- 教育の質保証の可視化

- ② 大学の対応状況
- ・ ポートフォリオは導入済
 - ・ ポートフォリオの活用が芳しくない
 - ・ 学生にポートフォリオの意義が理解できていない
- ↓
- 大学側の自己保身に陥っている